

子ども県議会

2025年12月25日(水)

滋賀県
子ども県議会
事務局発行 / No.10



今年度の子ども議員40名は、7月27日（日）に三日月知事から子ども議員に任命されてから、2回の地域体験活動と6回の学習会を重ね、広い視野で滋賀県について考えてきました。自分自身のことだけでなく、周囲の人々、びわ湖の環境、そして滋賀の未来について真剣に向き合い、子ども議員同士で意見を交換してきました。

その集大成として、令和7年12月25日に滋賀県議会議場において、子ども県議会を開催し、滋賀県をより良くするための10の提案や「子ども宣言」の発表を行いました。歴史ある県議会議場で、子ども議員たちはそれぞれの役割を果たし、堂々と発言する姿が見られました。

滋賀県議会から来賓としてお迎えした議長および教育・子ども若者常任委員会委員長のご挨拶

滋賀をより良くするための新しい発見や提案が生まれることを期待している。将来の滋賀県、そして日本を担うのは皆さんであり、「安心して幸せに暮らせる滋賀」「生まれて・住んでよかったと思える滋賀」をどうつくるかを、社会の一員として真剣に考えてほしいと思います。

滋賀県議会 目片信悟議長



今日は皆さんドキドキワクワクしていると思いますが、大きな声でゆっくりとはっきりと発表していただきたいと思います。頑張ってください。

教育・子ども若者常任委員会
赤井康彦委員長



子どもたちが選んだ、
3人の子ども議長が進行を務めました！



セリフにつまつた所があったけど…
「よかったよ」と言ってもらいました。
川上 大和さん

子どもたちはそれぞれの提案を堂々と行い、
三日月知事をはじめ、県の職員から答弁をいただきました！



これからの学校生活をより良いものにするために



岸本 副知事 答弁



誰もが安心して快適に過ごせる避難所のある滋賀県へ



園田 知事公室長 答弁



スポーツで市町の壁を越えて、つながるきっかけを
～Excitingびわスポ～



中村 文化スポーツ部長 答弁



緊張とワクワクで思つたりよりも早く終わって、達成感と寂しい感じがありました。
柴垣 咲里 さん



経験したことがない緊張した中で、議長を務めさせていただいて、これまでになく貴重な経験となりました。
山口 珠咲百さん



令和7年度 子ども県議会 子ども宣言(概要)

- ①戦後80年の平和の誓い
- ②魅力見つかる滋賀へ
- ③地域の人との交流が絶えない滋賀へ
- ④いじめのない滋賀へ
- ⑤ゴミが少ない滋賀県へ

三日月知事からメッセージ

7月27日の任命式の時に3つの「み」を大切にしてくださいと言いました。身の回りのこと、みんなのこと、未来のことを考えられる議員さんになっていただければと投げかけました。今日のご質問やご提案、動作、最後の子ども宣言を見て、私がお願いした呼びかけたメッセージそれぞれに体現しているなと思い、とても嬉しく心強く思いました。やっぱりみんなの力はすごいと思いました。みんなが調査して、議論して作って、とっても説得力のある提案や質問をして頂いたからだと思い、感服しました。ここで答弁して終わりではなく、これからも滋賀県の様々な取組に参画してくれたら嬉しいと思います。

